

改訂版「お茶大インデックス」(雇用環境整備指標)を用いた教育研究機関の雇用環境評価 2020年度 結果

改訂版「お茶大インデックス」を用いた教育研究機関の雇用環境評価を実施した。調査概要は以下の通り。

調査実施日：2021年2月2日(火)～2021年3月8日(月)

調査方法：Excelで回答可能な改訂版「お茶大インデックス」をメールにて送付し、Ploneを用いて評価結果と活用方法についてのアンケート調査を実施。

配布機関：科学技術振興調整費・女性研究者支援モデル育成事業(H18～H22)採択55機関、及び女性研究者研究活動支援事業選定(H23～R2)49機関の計104機関のうち連絡が可能であった102機関

回収数：43機関(回収率42.2%)

改訂版「お茶大インデックス」評価結果 43機関の回答割合と全体的経年変化

43機関の改訂版「お茶大インデックス」の評価結果について、50項目それぞれに3つの選択肢の回答割合を算出した。各項目の回答割合を用いて図1を作成した。

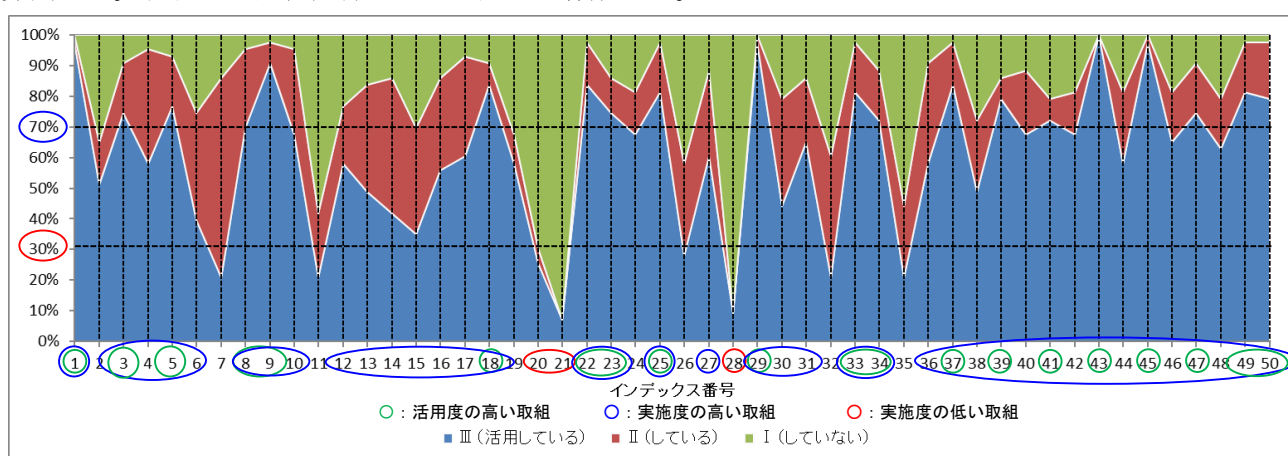


図1. お茶大インデックス評価結果(全43機関、回答割合)

43機関における活用度の高い取組(『Ⅲ.活用している』の回答が多い項目)、実施度の高い取組(Ⅲ.活用している、Ⅱ.している)、低い取組(Ⅰ.していない)は以下の通り。(カッコはインデックス番号を示す)

活用度の高い取組(『Ⅲ.活用している』の回答割合が70%以上) ※赤字は前回調査時(2019年度)には含まれなかった項目を示す。

- | | |
|--|---|
| (1) 女性研究者を支援する組織(本部、室、センター、部門など)の設置 | (34) 子育てや介護に関わる手続きや利用可能な支援を紹介するための冊子(WEBでの紹介含む)作成 |
| (3) 公正で透明性の高い公募を行うための制度や仕組みの導入 | (37) 女性研究者を支援するための他キャンパス・他機関・地域とのネットワーク連携、コンソーシアム設置 |
| (5) 女性を積極的に採用する制度や仕組みの導入 | (39) 女性研究者増に関わる女子中高生、女子大学生向け授業・セミナー(ラボ見学、インターンシップ含む)の開催 |
| (8) 女性研究者における研究分野別・職階別の女性比率の把握 | (41) 女子中高生向け女性研究者ロールモデルとの交流会の開催 |
| (9) 女性研究者を支援するための予算の配分 | (43) 機関内向け研究者支援に関わる情報発信(メール・広報誌・掲示・WEB) |
| (18) 保育施設(一時保育含む)やベビーシッター手配のための支援(経費支援・利用補助券配布含む) | (45) ハラスメントを防止するための取組 |
| (22) 育児期における柔軟な勤務体制の導入(時短勤務、在宅勤務など) | (47) 管理職向け働き方や両立支援に関する意識啓発 |
| (25) 次世代育成支援対策行動計画や女性活躍推進対策行動計画、一般事業主行動計画の機関内外への周知 | (49) ダイバーシティ&インクルージョンを理解するための意識啓発 |
| (29) 研究者を支援するための研究補助者(支援員)の配置 | (50) ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発 |
| (33) 研究者支援の取組状況や成果を発信するためのホームページの設置 | |

実施度の高い取組(『Ⅲ.活用している』に『Ⅱ.している』を加えた場合の回答割合が70%以上) ※赤字は前回調査時(2019年度)には含まれなかった項目を示す。

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------|
| (1) 女性研究者を支援する組織(本部、室、センター、部門など)の設置 | (5) 女性を積極的に採用する制度や仕組みの導入 |
| (3) 公正で透明性の高い公募を行うための制度や仕組みの導入 | (6) 女性を管理職に登用する制度や仕組みの導入 |
| (4) 客観的に業績を評価する制度や仕組みの導入 | (7) 女性研究者を採用する目標値を設定 |

(8) 女性研究者における研究分野別・職階別の女性比率の把握	支援、リーダー・PI 育成など)
(9) 女性研究者を支援するための予算の配分	(33) 研究者支援の取組状況や成果を発信するためのホームページの設置
(10) 業務を効率化するための取組	(34) 子育てや介護に関わる手続きや利用可能な支援を紹介するための冊子 (WEB での紹介含む) 作成
(12) 定時帰宅日の設定	(36) 女性研究者を養成・支援するためのロールモデル情報(事例集)の発信
(13) 男性が育児休業制度を積極的に取得することを周知・促進	(37) 女性研究者を支援するための他キャンパス・他機関・地域との ネットワーク連携、コンソーシアム設置
(14) 実労働時間に関する調査	(38) 女性研究者間のネットワークの構築(メーリングリスト作成、WEB、SNS など)
(15) 教職員を対象としたワーク・ライフ・バランスに関する調査	(39) 女性研究者増に関わる女子中高生、女子大学生向け授業・セミナー (ラボ見学、インターンシップ含む)の開催
(16) 女性休養室(女性が安心して休憩できるスペース)の設置	(40) 女子中高生向け女性研究者ロールモデル情報の発信(DVD・HP・冊子)
(17) 授乳室(授乳スペース)・多目的トイレ(おむつ替えスペース、 子ども用便座、ベビーチェアの設置含む)の設置	(41) 女子中高生向け女性研究者ロールモデルとの交流会の開催
(18) 保育施設(一時保育含む)やベビーシッター手配のための支援 (経費支援・利用補助券配布含む)	(42) 女子中高生向け女性研究者増に関わるイベント・シンポジウムの開催
(22) 育児期における柔軟な勤務体制の導入(時短勤務、在宅勤務など)	(43) 機関内向け研究者支援に関わる情報発信(メール・広報誌・掲示・WEB)
(23) 育児期における職務軽減制度(非常勤講師配置制度、代替要員配置制度 含む)の導入	(44) 子育てや介護に関する勉強会・交流会の開催
(24) 在宅勤務を可能にするユビキタス環境整備(ネット対応、TV・WEB 会議 等)	(45) ハラスメントを防止するための取組
(25) 次世代育成支援対策行動計画や女性活躍推進対策行動計画、一般事業主 行動計画の機関内外への周知	(46) 男性向け子育て・介護支援に関する意識啓発
(27) 研究や子育て・介護のための相談窓口の設置	(47) 管理職向け働き方や両立支援に関する意識啓発
(29) 研究者を支援するための研究補助者(支援員)の配置	(48) 男女共同参画推進に向けた意識啓発や女性研究者支援に関わる表彰制度 や顕彰制度の実施
(30) 女性研究者を支援するためのメンター制度の導入	(49) ダイバーシティ&インクルージョンを理解するための意識啓発
(31) 女性研究者のキャリアアップ支援(英語関連セミナー、国際学会発表	(50) ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発

実施度の低い取組 (『I. していない』の回答割合が70%以上)

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| (20) 学童保育施設の設置(期間限定開設、他機関との連携も可) | (28) 学生・院生に対する子育て支援のための育児奨学金制の導入 |
| (21) 子育てを支援するための機関内宿泊施設の整備(他機関との連携も可) | |

「Ⅲ.活用している」の回答割合が70%以上を示した項目は、前回調査(2019年度)にも確認されたインデックス番号(1)、(5)、(9)、(18)、(22)、(25)、(29)、(33)、(37)、(39)、(41)、(43)、(45)、(50)の14項目と、今回新たにインデックス番号(3)公正で透明性の高い公募を行うための制度や仕組みの導入、(8)女性研究者における研究分野別・職階別の女性比率の把握、(34)子育てや介護に関わる手続きや利用可能な支援を紹介するための冊子(WEBでの紹介含む)作成、(47)管理職向け働き方や両立支援に関する意識啓発、(49)ダイバーシティ&インクルージョンを理解するための意識啓発、の5項目が加わり、計19項目となった。

実施度の高い取組(『Ⅲ.活用している』に『Ⅱ.している』を加えた場合の回答割合が70%以上)は、前回調査(2019年度)においても挙げられた38項目に加え、インデックス番号(6)女性を管理職に登用する制度や仕組みの導入、(7)女性研究者を採用する目標値を設定、(24)在宅勤務を可能にするユビキタス環境整備(ネット対応、TV・WEB会議等)の3項目が加わって計41項目となり、全50項目のうち8割以上が実施されていることが明らかとなった。

実施度の低い取組は、前回調査(2019年度)と変わらず「学童保育(インデックス番号20)」、「宿泊施設の設置(インデックス番号21)」、「奨学金制度の導入(インデックス番号28)」であった。

2020年度の結果の特徴として、(24)在宅勤務を可能にするユビキタス環境整備(ネット対応、TV・WEB会議等)の実施状況が挙げられる。2019年度調査では38機関中「活用されている」の回答が8機関、「している」の回答が9機関、「していない」の回答が21機関であり、「していない」の回答割合が5割以上を占めていたが、2020年度調査では43機関中「活用されている」の回答が29機関、「している」の回答が6機関、「していない」の回答が8機関となり、「活用されている」の回答割合が7割近くを占めた。増加の原因は、2020年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)がまん延し、ユビキタス環境の整備が急速に進んだことが一因と考えられる。

これらの結果から、女性研究者支援事業に採択された教育研究機関では雇用環境の整備・定着が着実に促進し、各取組が実効性をもって継続的に実施されていると言える。一方で、子育て中の学生への経済的支援、設置場所の確保や多くの資金が必要な取組については未だ実施困難であり、引き続き異なる支援方法を模索・検討する必要があると言える。

改訂版「お茶大インデックス」評価の経年変化

前回調査（2019 年度）に引き続き、各年度における回答機関の総合得点平均値の推移と、お茶大インデックスを「組織」、「勤務体制」、「子育て支援」、「研究教育支援」、「情報支援とネットワーク構築」、「次世代育成の取組」、「意識啓発の取組」の 7 項目に分類・集約した得点平均値の推移を確認した。2011 年度から 2020 年度における総合得点割合と大分類した 7 項目における得点割合（いずれも 100%は満点）の平均値を算出し、図 2 を作成した。なお、2018 年度は調査未実施のため表示していない。

2020 年度の総合得点割合は、前回調査（2019 年度）から 1.6 点増の 70.7 点であった。総合得点割合は右肩上がりに増加していることから、女性研究者支援事業実施機関においてはこの 10 年間で着実に雇用環境が整備され、支援活動は推進・定着しつつあると言える。

評価項目を大分類して 7 項目に集約した結果について、前回調査（2019 年度）と 2020 年度を比較すると、「組織」は 70.3%から 6.2 ポイント増の 76.5%に、「勤務体制」は 64.3%から 3.8 ポイント減の 60.5%に、「子育て支援」は 54.2%から 1.2 ポイント増の 55.4%に、「研究教育支援」は 61.4%から 5.7 ポイント増の 67.1%に、「情報支援」は 72.8%から 1.5 ポイント減の 71.3%に、「次世代育成の取組」は 77.3%から 0.3 ポイント増の 77.6%に、「意識啓発の取組」においては 86.3%から 2.1 ポイント減の 84.2%となった。「勤務体制」と「情報支援とネットワーク構築」、「意識啓発の取組」においてはポイント減となった。これは、「情報支援とネットワーク構築」と「意識啓発の取組」はイベント開催を伴うことが多く、COVID-19 の感染拡大を防ぐための開催中止、さらには緊急事態宣言の発令などにより開催を余儀なく中止したケースもあったことが要因と推察される。

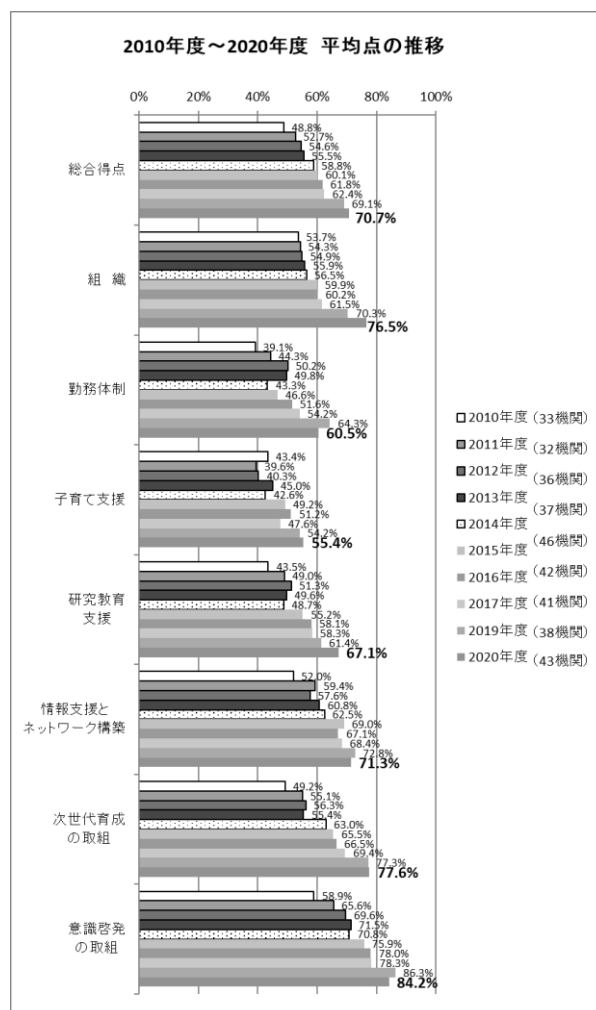


図 2. 改訂版お茶大インデックス評価（得点割合）の経年変化（全 43 機関、得点割合）

改訂版「お茶大インデックス」評価結果 総合得点上位 10 機関・下位 10 機関の特徴

43 機関のうち、インデックスの総合得点上位 10 機関（平均 84.1 点 /100 点中）の回答割合を用いて図 3 を作成し、評価得点下位 10 機関（平均 52.5 点/100 点中）の回答割合を用いて図 4 を作成した。

総合得点上位 10 機関（図 3）の結果を見ると、インデックス番号（20）学童保育施設の設置、（21）子育てを支援するための学内宿泊施設の整備、（28）学生・院生に対する子育て支援のための育児奨学金制度の導入、は「Ⅰ.していない」の回答が多いことがわかる。この結果は、調査を開始した 2010 年度からあまり変化しておらず、女性研究者支援事業開始時から 10 年ほど経過する今現在においても実施困難な取組であることがわかる。

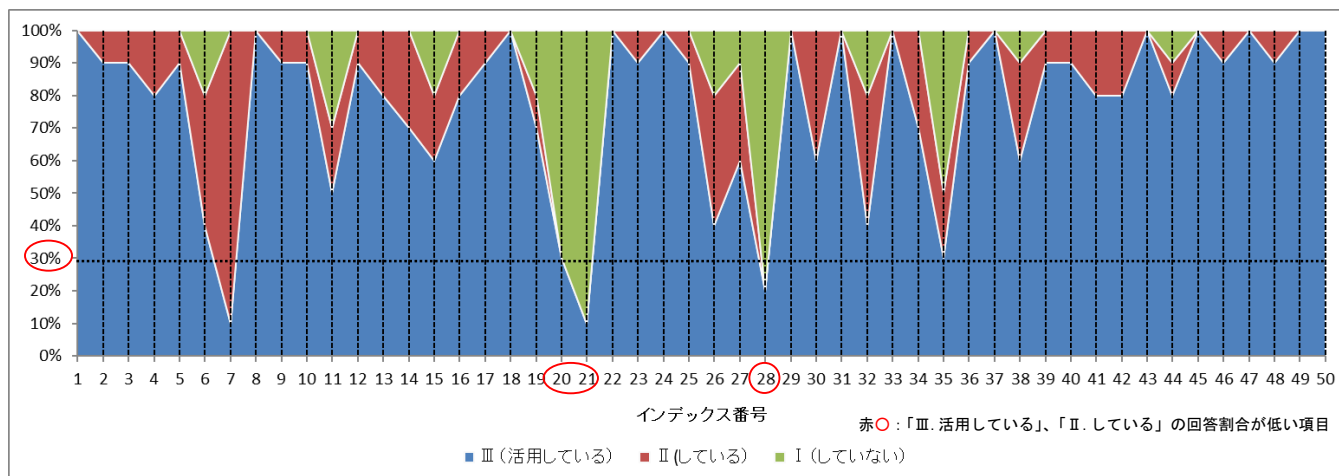


図 3. 改訂版「お茶大インデックス」評価結果 （得点上位 10 機関）

総合得点下位 10 機関（図 4）の結果を見ると、インデックス番号（2）、（5）、（6）、（11）、（12）、（13）、（15）、（19）、（20）、（21）、（26）、（28）、（30）、（32）、（35）、（38）、（39）、（40）、（41）、（42）、（46）、（48）の 22 項目を除いた計 28 項目において「Ⅲ.活用している」、「Ⅱ.している」の回答割合が 70%を超えており、総合得点が低い機関においても 50 項目のうち 6 割程度は実施できていることがわかる。2019 年度調査から今回新たに回答割合が 70%を超えたのは、インデックス番号（7）、（16）、（24）の 3 項目であった。一方、子育て支援や研究者支援の中でもセミナー等の開催にかかわる項目、情報支援とネットワーク構築、意識啓発の取組に属するインデックス番号（13）、（19）、（30）、（38）、（46）、（48）の支援活動の得点は下がっており、これも COVID-19 の影響によるものと考えられる。下位機関においても取り組むことのできる活動は増えており、COVID-19 がまん延した状況においても、支援活動は推進されていることが確認できた。

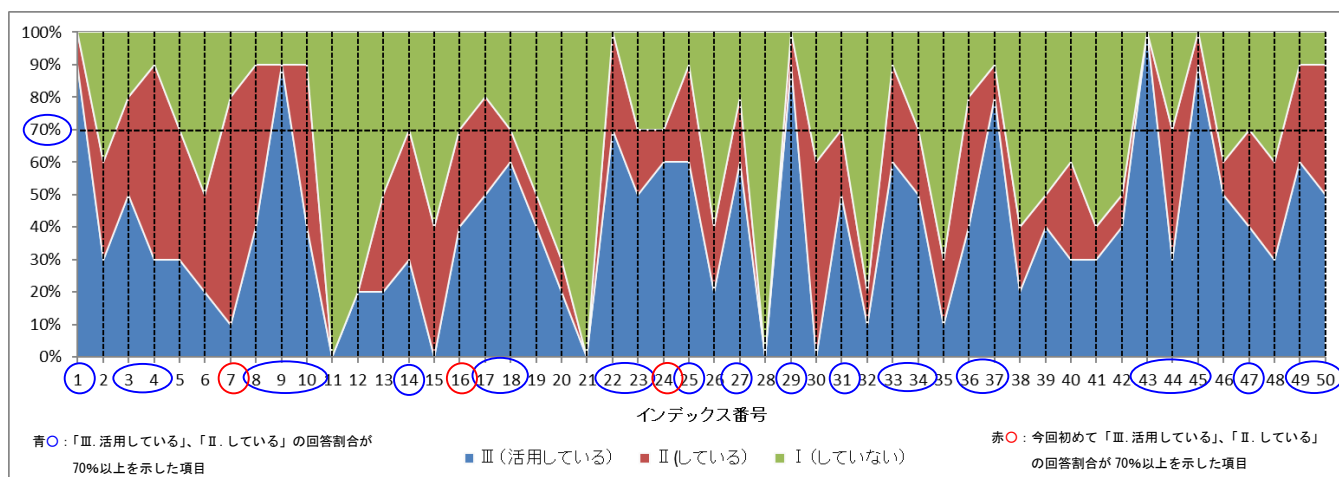


図 4. 改訂版「お茶大インデックス」評価結果 （得点下位 10 機関）

改訂版「お茶大インデックス」評価結果 43 機関における支援バランスの特徴

改訂版「お茶大インデックス」の「組織」、「勤務体制」、「子育て支援」、「研究教育支援」、「情報支援とネットワーク構築」、「次世代育成の取組」、「意識啓発の取組」の7項目の得点バランス、すなわち支援のバランスを明らかにするために、大分類された7項目それぞれに得点割合（100%は満点）の平均値を算出した。結果を図5に示す。

7項目のうち「意識啓発の取組」の得点割合が前回調査（2019年度）と同様に最も高く、次いで「次世代育成の取組」、「組織」の得点割合が高くなった。「次世代育成の取組」はここ数年大きなバラツキが認められ、2020年度はさらにバラツキが大きく、実施できる機関とできない機関の差が大きくなっていることがうかがえる。

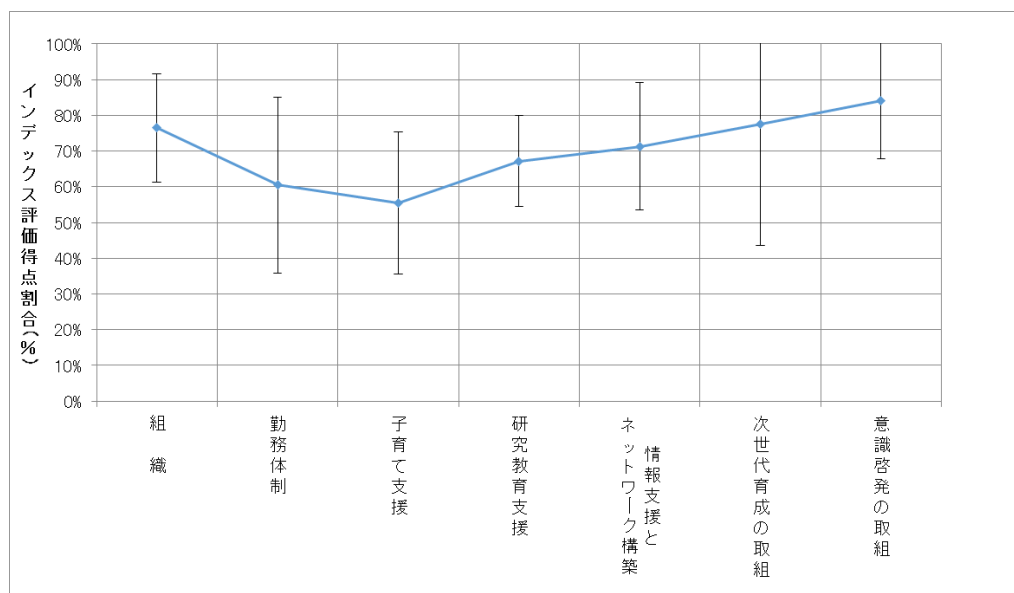


図5. 改訂版「お茶大インデックス」支援バランス（43機関における評価得点割合の平均値）

43機関それぞれに算出した7項目の支援バランス（得点割合）を用いてクラスター分析（類似性の高いものをグルーピングする方法）による解析を行った。その結果、図6に示す通り、支援バランスの特徴により43機関を4グループに分類することができた。

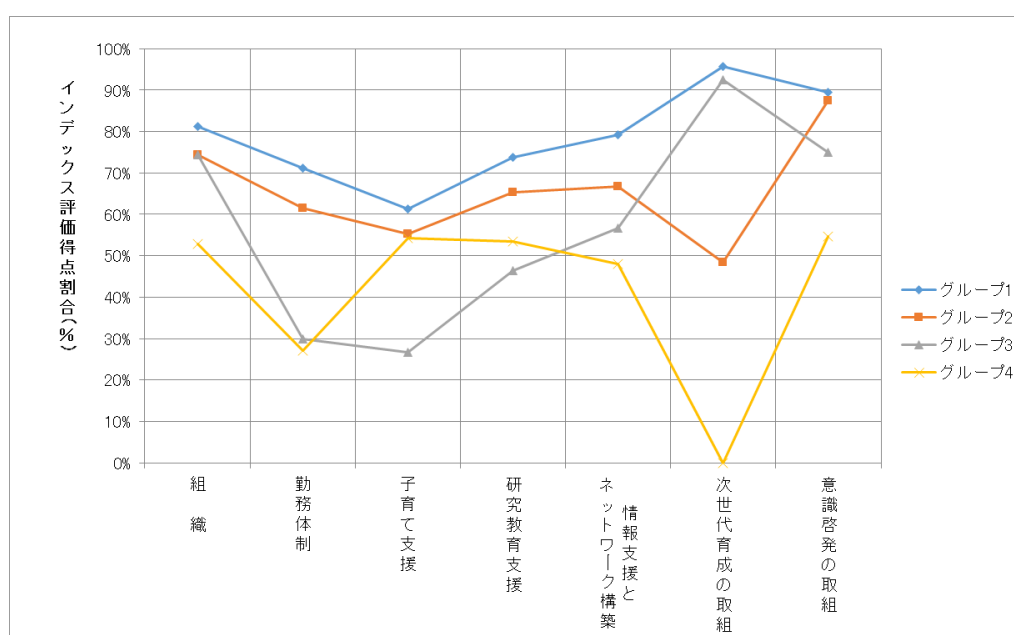


図6. 改訂版「お茶大インデックス」評価 43機関における支援バランスの特徴

各グループを構成する機関の特徴は次に示すとおりである。

【グループ1】全体的に支援が充実している機関（26機関）

26機関で構成されるグループ1は、総合得点平均値が4グループ内で最も高い77.8点であった。支援バランスを見ると、7項目すべての得点割合が高く、特に「次世代育成の取組」は実施率95.5%と群を抜いて高い得点割合となった。グループ1に属する機関は、自機関に所属する研究者だけでなく、女子中高生向けの取組など女性研究者の裾野拡大にも力を注いでいることがわかる。なお、総合得点上位10機関はこのグループ1に属しており、大都市の国公立大学20機関、学生数が非常に多い大都市の私立大学（共学）4機関、大学以外の研究機関1機関で構成されている。なお、お茶の水女子大学もこのグループに属している。

【グループ2】「次世代育成の取組」よりも「意識啓発の取組」に特に力を入れている機関（8機関）

4グループの中でも「意識啓発の取組」の実施率が87.5%と非常に高く、女子中高生向けの取組などの女性研究者の裾野拡大の取組よりも機関に所属する研究者を対象とした意識啓発に力を入れているグループである。総合得点平均値は67.6点と4グループの中2番目に高い得点を示した。8機関中6機関が地方の国公立大学、2機関は首都圏の私立大学（共学）である。

【グループ3】「勤務体制」や「子育て支援」の取組は弱い、「次世代育成の取組」に力を入れている機関（5機関）

「勤務体制」や「子育て支援」の実施率は30%程度であるが、支援項目の「次世代育成の取組」の実施率は92.5%と非常に高く、女子中高生を対象とした取組を積極的に実施し、次世代育成に力を注いでいるグループである。総合得点平均値は56.6点であり、国公立大学1機関、私立大学（共学）4機関で構成されている。

【グループ4】「次世代育成の取組」と「勤務体制」の取組以外に力を入れている機関（4機関）

総合得点平均値は45.5点と4グループの中で最も低く、「次世代育成の取組」の実施率は0%、「勤務体制」の取組は27.1%であった。しかし、その他の支援については実施率50%前後を示していることから、機関に所属する研究者を対象とした子育て支援や研究者支援、意識啓発の取組に力を注いでいるグループと言える。なお、4機関中3機関は地方の単科大学である。

改訂版「お茶大インデックス」評価結果の活用方法

改訂版「お茶大インデックス」の評価結果活用方法について調査した結果を図7に示す。「毎年評価して雇用環境の経年変化の把握に活用」、「支援活動計画時における有効な資料として活用」、「自己点検として活用頂いた評価結果を他機関と共有・比較することに活用」の回答が約3割ずつ占めており、雇用環境の経年変化を把握するだけでなく、他機関と共有・把握することで周囲の取組状況を確認しつつ支援活動を活発化している様子がうかがえた。

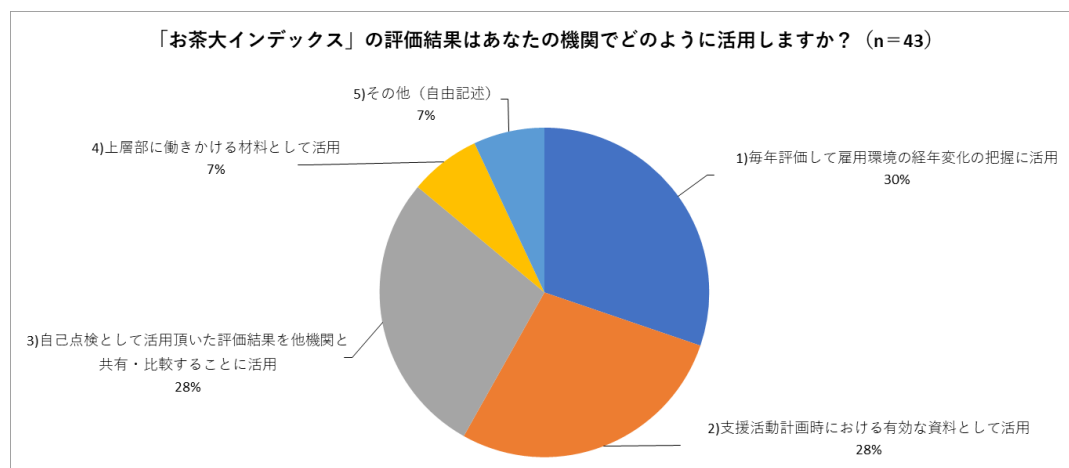


図7. 改訂版「お茶大インデックス」の活用方法（n=43）

43 機関における改訂版「お茶大インデックス」評価結果 まとめ

本学は「女性研究者支援モデル育成」事業（2006 度～2008 年度）の成果として教育研究機関における雇用環境の自己評価指標「お茶大インデックス」を開発し、2010 年度よりこの指標を用いて女性研究者支援関連事業採択機関の雇用環境評価を実施してきた。女性研究者支援事業の開始から 10 年以上経過し、新たな取組や活動が各所で実施され、現行（2008 年度開発）のインデックスでは評価できない項目も確認された。また、これまで評価に協力いただいた機関からは評価方法や評価項目に対する意見も寄せられた。

そこで、インデックス開発から 10 年経過した 2018 年度から 2019 年度にかけて、新たな支援方法や制度、効果的な取組を本指標でもれなく評価できるようにインデックスの改訂を行った。改訂にあたり、これまでに協力機関から寄せられた意見、ならびにこれまでに公表されている女性研究者支援事業にかかわる事後評価結果、中間評価結果、事例紹介、事業報告書等を全て確認し、インデックス（評価項目）の文言修正・追記を行い、改訂版「お茶大インデックス」を作成した。改定のポイントは以下のとおりである。

【改定ポイント】

- ・評価項目は 50 項目のままとし、評価尺度も 3 段階（Ⅰ～Ⅲ）のままとする。
- ・女性研究者増を目指した雇用環境の構築指標であるが、男性に対する支援等も多々実施されているため、女性に特化した表現にならないよう配慮する。
- ・50 項目で評価することができない効果的な取組を書き込む自由記述欄を設け、評価結果報告書においてその取組を紹介する。

2020 年度は改訂版「お茶大インデックス」を用いて調査を実施した。その結果、2019 年度に回答いただいた機関 29 機関のうち 20 機関において得点の増加が認められた。得点増加の理由については調査していないが、改訂版「お茶大インデックス」に対する意見を求めたところ「改定の結果、最近の標準的な取組がチェック項目になり、評価しやすくなりました。女子中高生や男性の支援に配慮した点は良い方向性だと考えます。」「女性＝子育てではないので、いろいろなライフスタイルやライフステージにあわせた指標開発、そして女性研究者以外の人を含めた働きやすさの指標に寄せていくと良いように思いました。」などの意見が寄せられたことから、改訂によりこれまで評価できていなかった取組についても評価できるようになり、得点の向上に影響したと推察できる。なお、改訂版「お茶大インデックス」においても評価できない効果的な取組については以下のとおり回答が寄せられている。（許可を得た機関についてのみ機関名を表示している）

- ・利用者にサポーターを配置する大学独自のシステム「ならっこネット」を開発し運用している（奈良女子大学）
- ・次世代育成の取組の一つとして、平成 27 年度より再開講した全学教育科目基幹科目（社会論）「ジェンダーと人間社会」を開講し、1 年生を中心とする学生の男女共同参画への意識醸成に努めている。（東北大学）
- ・マネジメントやガバナンスへの女性のコミット具合など。（首都圏 私立大学）

調査開始の 2010 年度と比較して、「お茶大インデックス」の評価得点（平均得点）や最高得点は飛躍的に向上していることから、各機関が切磋琢磨しつつ女性が働きやすい雇用環境を整備し、男女共同参画社会の実現に向けて着実に進んでいると言えよう。なお、「お茶大インデックス」はピア・レビューや顕彰を目的としたものではなく、教育・研究機関における自機関の雇用環境を評価・確認し、自己研鑽のための指標（自機関において女性が働きやすい雇用環境を構築するためのチェックシート）として開発したものである。改訂版「お茶大インデックス」においてもその方針は変わらず、各機関の評価結果を本学が収集・分析することで全国のエデュケーション・研究機関における雇用環境の状況や経年変化を可視化できることから、今後も引き続き調査を実施し、データの蓄積と分析、結果のさらなる発信・波及を目指した活動を続けたい。

本調査を実施するにあたり、全国の多くの教育研究機関の皆様にご協力を賜った。心より感謝の意を表するとともに、海外事例も参考に名前の変更を含め評価結果の比較方法や顕彰制度への展開についても検討したい。

【付録1】 改訂版「お茶大インデックス」

2020 年度調査に用いた改訂版「お茶大インデックス」は以下のとおりである。

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

【研究教育機関向け】 女性が働きやすい雇用環境を構築するためのチェック 60

文部科学省 科学技術振興調整費 女性研究者支援モデル育成プログラム(H19-20年度)
2020年度(令和2年度)改訂版

お茶大インデックス

お茶の水女子大学の女性研究者支援活動から生まれた「お茶大インデックス」は、研究教育機関において、女性が仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を実現し、子育て中でも充実した研究生活をおくる雇用環境を構築するための取組状況を指標にしたものです。

1~50のチェック項目それぞれに、あなたの所属する機関の状況について、Ⅰ~Ⅲの回答のうち、当てはまるものひとつを選び、「**記入欄**」をクリックしてチェックを付けてください。各機関での女性研究者支援の取組みがわかります。評価はあくまでも目安です。

あなたが所属する機関名をお教えてください。(枠内にご記入ください)

機関名:

		チェック項目	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
1. 全学的な支援体制	組 織	1 女性研究者を支援する組織(本部、室、センター、部門など)の設置	していない	している	活動をしている
		2 外部評価委員会の設置や外部評価の実施	していない	している	反映されている
		3 公正で透明性の高い公募を行うための制度や仕組みの導入	していない	している	活用されている
		4 客観的に業績を評価する制度や仕組みの導入	していない	している	活用されている
		5 女性を積極的に採用する制度や仕組みの導入	していない	している	活用されている
		6 女性を管理職に登用する制度や仕組みの導入	していない	している	活用されている
		7 女性研究者を採用する目標値を設定	していない	している	目標が達成されている
		8 女性研究者における研究分野別・職階別の女性比率の把握	していない	している	比率が公表されている
		9 女性研究者を支援するための予算の配分	していない	している	活用されている
	勤務体制 (心おきなく 帰宅できる体制)	10 業務を効率化するための取組	していない	している	取り組まれている
		11 会議に関する規則の設定(5時以降に会議時間を予定しない・延長しない)	していない	している	実施されている
		12 定時帰宅日の設定	していない	している	実施されている
		13 男性が育児休業制度を積極的に取得することを周知・促進	していない	している	推進されている
		14 実労働時間に関する調査	していない	している	結果が反映されている
		15 教職員を対象としたワーク・ライフ・バランスに関する調査	していない	している	結果が反映されている
2. 女性研究者支援	子育て支援	16 女性休養室(女性が安心して休めるスペース)の設置	していない	している	活用されている
		17 授乳室(授乳スペース)・多目的トイレ(おむつ替えスペース、子ども用便座、ベビーチェアの設置含む)の設置	していない	している	活用されている
		18 保育施設(一時保育含む)やベビーシッター手配のための支援(経費支援・利用補助券配布含む)	していない	している	活用されている
		19 病児・病後児保育施設の設置(利用補助券配布、他機関との連携も可)	していない	している	活用されている
		20 学童保育施設の設置(期間限定開設、他機関との連携も可)	していない	している	活用されている
		21 子育てを支援するための機関内宿泊施設の整備(他機関との連携も可)	していない	している	活用されている
	研究教育支援	22 育児期における柔軟な勤務体制の導入(短時勤務、在宅勤務など)	していない	している	活用されている
		23 育児期における職務軽減制度(非常勤講師配置制度、代替要員配置制度含む)の導入	していない	している	活用されている
		24 在宅勤務を可能にするユビキタス環境整備(ネット対応、TV・WEB会議等)	していない	している	活用されている
		25 次世代育成支援対策行動計画や女性活躍推進対策行動計画、一般事業主行動計画の機関内外への周知	していない	している	計画を実行している
		26 出産・育児・介護に配慮した業績評価制度の導入	していない	している	活用されている
		27 研究や子育て・介護のための相談窓口の設置	していない	している	活用されている
		28 学生・院生に対する子育て支援のための育児奨学金制度の導入	していない	している	活用されている
		29 研究者を支援するための研究補助者(支援員)の配置	していない	している	活用されている
		30 女性研究者を支援するためのメンター制度の導入	していない	している	活用されている
		31 女性研究者のキャリアアップ支援(英語関連セミナー、国際学会発表支援、リーダー・PI育成など)	していない	している	活用されている
		32 研究補助者(支援員)のキャリアアップ支援(セミナー開催、キャリア相談など)	していない	している	活用されている
3. 情報支援とネットワーク構築	情報支援とネットワーク構築	33 研究者支援の取組状況や成果を発信するためのホームページの設置	していない	している	活用されている
		34 子育てや介護に関わる手続きや利用可能な支援を紹介するための冊子(WEBでの紹介含む)作成	していない	している	活用されている
		35 女性研究者を支援(研究補助、事務補助、子育て補助など)するための人材(人財)バンク構築	していない	している	活用されている
		36 女性研究者を養成・支援するためのロールモデル情報(事例集)の発信	していない	している	活用されている
		37 女性研究者を支援するための他キャンパス・他機関・地域とのネットワーク連携、コンソーシアム設置	していない	している	連携されている
		38 女性研究者間のネットワークの構築(メーリングリスト作成、WEB、SNSなど)	していない	している	活用されている
4. 意識啓発	次世代育成の取組 (女性研究者の 裾野拡大の取組)	39 女性研究者増に関わる女子中高生、女子大学生向け授業・セミナー(ラボ見学、インターンシップ含む)の開催	していない	している	継続している
		40 女子中高生向け女性研究者ロールモデル情報の発信(DVD・HP・冊子)	していない	している	継続している
		41 女子中高生向け女性研究者ロールモデルとの交流会の開催	していない	している	継続している
		42 女子中高生向け女性研究者増に関わるイベント・シンポジウムの開催	していない	している	継続している
	意識啓発の取組	43 機関内向け研究者支援に関わる情報発信(メール・広報誌・掲示・WEB)	していない	している	継続している
		44 子育てや介護に関する勉強会・交流会の開催	していない	している	継続している
		45 ハラスメントを防止するための取組	していない	している	継続している
		46 男性向け子育て・介護支援に関する意識啓発	していない	している	継続している
		47 管理職向け働き方や両立支援に関する意識啓発	していない	している	継続している
		48 男女共同参画推進に向けた意識啓発や女性研究者支援に関わる表彰制度や顕彰制度の実施	していない	している	継続している
		49 ダイバーシティ&インクルージョンを理解するための意識啓発	していない	している	継続している
		50 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発	していない	している	継続している

取組強さについて
お茶大インデックスの取組強さは、お茶の水女子大学が構築した「お茶大インデックス」に基づいて、お茶の水女子大学の取組状況を評価するための指標です。この指標は、お茶の水女子大学の取組状況を評価するための指標です。

女性が働きやすい雇用環境の度合い	
総合評価	合計点数
A	90~100
B	80~79
C	40~59
D	20~39
E	0~19

Ⅰの数	Ⅱの数	Ⅲの数
配点	配点	配点
Ⅰの数×0点	Ⅱの数×1点	Ⅲの数×2点
小計	小計	小計
点	点	点
合計		
/100		

「女性が働きやすい雇用環境の度合い」表を見て現在の状況を確認してみましょう。

※得点は自動的に計算されます

【付録 2】 改訂版「お茶大インデックス」評価結果 総合得点一覧

改訂版「お茶大インデックス」の評価結果（表 1）を総合得点の降順に示す。総合得点の平均点は 70.7 点（前回調査時より 1.6 点増）、最高点は 89 点（4 点増）、最低点は 34 点（1 点増）であった。

表 1. 改訂版「お茶大インデックス」 評価結果 （総合得点降順）

ID	「お茶大インデックス」得点							
	総合得点	1.全学的な支援体制		2.女性研究者支援		3.情報支援	4.意識啓発	
		組 織	勤務体制	子育て支援	研究教育支援	情報支援とネットワーク構築	次世代育成の取組	意識啓発の取組
055	89	17	10	8	18	12	8	16
060	87	17	11	8	19	9	8	15
008	85	16	12	9	15	9	8	16
017	84	16	12	6	18	10	6	16
070	84	13	9	10	19	10	8	15
076	84	16	9	10	16	10	8	15
026	83	15	11	7	16	10	8	16
035	83	16	11	6	21	9	4	16
021	81	17	8	8	17	9	8	14
025	81	14	6	8	18	11	8	16
045	81	16	5	8	16	12	8	16
062	81	16	8	5	16	12	8	16
086	80	18	3	10	16	9	8	16
024	79	17	9	8	16	8	7	14
079	79	15	11	7	15	10	8	13
047	78	15	8	6	16	9	8	16
028	77	14	7	6	16	12	8	14
030	76	13	10	6	17	8	8	14
068	76	12	9	8	16	11	8	12
お茶の水女子大学	73	14	9	7	15	10	8	10
007	73	13	10	9	14	6	6	15
061	72	12	10	6	13	7	8	16
074	72	12	7	9	16	8	7	13
002	71	15	7	6	16	10	4	13
067	71	13	10	10	14	7	3	14
085	71	16	9	3	13	9	7	14
019	70	15	6	6	16	10	6	11
016	67	16	8	5	14	6	2	16
018	67	11	5	8	15	7	8	13
033	66	11	5	10	15	8	8	9
031	65	14	6	4	14	8	5	14
036	64	11	8	4	14	8	8	11
081	64	16	5	4	8	8	8	15
039	63	7	7	10	14	6	4	15
051	63	16	3	3	12	11	8	10
069	61	14	5	3	13	11	1	14
072	58	12	4	4	14	5	8	11
041	57	11	7	10	14	6	0	9
022	50	7	3	8	12	7	0	13
063	50	13	2	3	10	5	5	12
059	48	10	4	2	7	5	8	12
053	41	13	3	4	10	6	0	5
014	34	7	0	4	11	4	0	8

※自己評価結果は「機関名を表示しない」ことを条件に本学に提出いただいているため、機関名の表示は本学のみとし、その他の機関は全て ID 表示としている。